

四水力地點 選定水力地點數一、其ノ馬力數ハ左表ノ通ニシテ許可水力地點ナシ

西城川水力地點表

順位	河川	番地點	取入口	放水口	水量	落差	馬力數	亘水路	流域面積	能發電率	年平均馬力數	等級
一〇三八	西城川	二	廣島縣雙三郡河内村 西河内中郷	同 山家河内村	湯水 一五六 低水 二七七 平水 五四二	五六	九七〇 一七二二 三三六九	一九〇〇	四〇六三	一〇〇〇	九七〇 一七二二 三三六九	甲

水力地點ノ説明

順位一〇三八 右岸ニ水路ヲ設ケ河川屈曲ヲ利用ス用水三箇所合計約二八個ヲ引用シテ四三町歩ノ水田ヲ灌漑スルモノアリ利用ニ際シテハ之ヲ七個以内ニ限定分與スルモノトシ使用水量ヲ定メタリ舟筏ニ對シテハ川ニ沿ヒ縣道通スルヲ以テ運搬ハ車馬或ハ軌道ニ依ルヲ得ヘク貯水池調整池ニ適スル地形ナシト雖神野瀬川水力地點順位一〇四二ト合ハセ利用スレハ甚タ有利ナル結果ヲ得ヘシ

第五節 出羽川

本川ハ地勢一般ニ緩ニシテ平野廣ク開ケ森林ノ良好ナラサルト水田ノ多キトヲ以テ灌漑期間ニ於ケル流水ノ涸

濁著シク水力利用ノ價值殆ト無シ當初一地點ヲ選定セシモ不利ト認メ之ヲ削除セリ

第十五章 高津川水系

第一節 概説

地形 本流域ハ石見國最西部ニ位シ鹿足美濃二郡ニ互リテ其ノ形三角形ヲナシ面積七〇七方里ヲ占ム。流域ノ東南一帶ハ中國山脈ニシテ高ク海拔一、〇〇〇米ヲ超ユル高峯相連リテ安藝周防ノ二國ト界シ其ノ支脈ハ之ヨリ分岐シ一ハ北部流域ヲ劃シテ西ニ低下シ一ハ西部流域ヲ限リテ北ニ低夷ス而シテ其ノ中間ニハ尙一條ノ山脈アリテ以テ東西ノ二域ニ分テリ、西ハ即チ本川高津川流域ニシテ

鹿足郡ノ大部ヲ包括シ東ハ支流匹見川流域ニシテ美濃郡南部ヲ抱擁ス。高津川流域ハ其ノ上流ノ山勢極メテ緩ニシテ臺地ヲナシ漸ク下リテ稍急峻ナル連嶺トナレルモ匹見川流域ハ之ニ反シテ山嶽重疊シ而モ高峻ニシテ流域ハ皆山地タルノ觀ヲ呈ス

地質 高津川流域ハ上流斑岩下流古生層ニシテ沿岸諸所ニ洪積層アリ、匹見川流域ハ一般ニ斑岩ノ占ムル所ナルモ匹見下村ノ北方ニハ花崗岩下流合流點附近ニハ秩父層アリ

林野狀態 二川ヲ通シ潤葉樹林最多ク針潤混淆林之ニ次キ針葉樹林ハ極メテ少シ。高津川ニハ約三方里ノ官林

地目面積表

河川名	地目		山林地		合計
	耕地	原野	針葉樹林	潤葉樹林	
高津川 (左邊測水所以上)	面積(方里)	三三〇	〇八四	二〇三	二七〇
	同 百分率	九三	二五	七六	一〇〇
同 (地點取入口以上)	面積(方里)	三三六	一五五	二二二	七二三
	同 百分率	一〇〇	四三	三〇	一七三
高津川、匹見川 (匹見川合流點以上)	面積(方里)	八〇	三六	一七五	二九一
	同 百分率	八〇	三六	一七五	二九一
匹見川 (高津川合流點以上)	面積(方里)	三三	〇	〇	三三
	同 百分率	三三	〇	〇	三三

散在シ良好ナル林況ヲ呈セリ然レトモ其ノ大部ノ潤葉樹林ハ漸次伐採セラレテ跡ヲ顯ミラレサルカ如ク内多少ノ植林地アルモ全地ノ一少部分ニ過キスシテ森林狀態概シテ不良ナリ。匹見川ハ上流匹見上村地方ニ潤葉ノ自然林多ク就中太田川ト其ノ流域ヲ劃スル五里山系ノ如キハ林相極メテ良好ニシテ數百年ノ老樹繁茂セリ上流道川村地方ニアリテハ針潤混淆林稍廣ク雜木ニ赤松ヲ交ヘ其ノ狀態前者ニ比シ少シク劣ルト雖尙水源林トシテ良好ナリ然レトモ匹見上村部落ヨリ下流ニ至レハ伐採甚シク多少ノ潤葉樹林ヲ有スルモ多クハ雜草ヲ交ヘタル雜木林ニシテ見ルヘキモノ少シ。耕地ハ高津川上流及下流各所ニ可ナリ廣ク散在セラレ匹見川ニハ上流ニ耕地少ク最下流ニ稍多シ

氣象狀態 年降水量ハ一、七〇〇耗乃至二、四〇〇耗ニシテ流域ノ東部地方ニ最多ク西ニ進ムニ從ヒ漸次減少シ南方國境ニ至リテ再ヒ増加ス即チ匹見川流域ニ於テハ一般ニ其ノ年量二、〇〇〇耗ヲ超ユルモ西方高津川流域ニ至レハ中流低地部ニ於テ一、七〇〇耗内外ナリ、氣温ハ山間部ニ於テ平均一三度内外トス

### 第二節 高津川

一、河川狀況 本川ハ水源ヲ藏木村ニ發シテ西ニ向ヒ六日市村ヲ經テ七日市村ニ至リ北ニ折レテ右支高尻川ヲ合セ柿木村ニテ左支樺谷川ト合シ日原村ニ入りテ稍西北ニ折レ左支津和野川ヲ合ス之ヨリ川ハ北ニ轉シテ横田村ニ至リ東方ヨリ來ル一大支流匹見川ト合ス此ノ流路約一六里流域面積四〇二四方里ナリ

上流部ハ臺地ヲ流ルルヲ以テ谷開ケ岸低ク甚タ緩流ナ

ルモ樺谷川合流點ヨリ下流日原ニ至ル間ハ谷迫リ岸壁高ク急峻ニシテ流下勾配平均一八〇分ノ一ヲ有シ河床多クハ岩盤ヨリ成ル津和野川合流點ヨリ下流ハ兩岸稍緩ニシテ谷淺ク河床ニ往々岩盤ヲ露出シ勾配平均四三〇分ノ一ヲ保テルモ下リテ美濃郡ニ至レハ兩岸全ク開ケテ緩流トナリ河床ハ流下セラレタル土砂ヲ以テ埋メラル

本川最渴水期ハ夏季ニシテ秋季モ稍渴水ニ近ク春冬二季ニハ高水若ハ平水多ク最大洪水ハ概ネ夏季若ハ秋季ニ起リ渴水量ノ大略三〇〇倍ニ達ス

#### 高津川 流量表

順位	舊順位	河川	測水所	面積	流 量				流 域 一 方 里 當 流 量						
					年 次	最 大	平 水	低 水	最 小	最 大	平 水	低 水	最 小		
二六九	六三六	高津川	島根縣鹿足郡日原村 左鏡 壘	二四〇三	大正八年	二,九〇〇	四三三	二六八	一七五	一六六	四九五	一七三	一一二	七三	六九
					大正九年	三,五〇〇	三七六	二二七	一五九	一四三	一,四〇〇	一五六	九〇	一三二	六六
					大正十年	二,八〇〇	三六〇	一九六	一五〇	一四三	九七	一五〇	八三	六三	六〇
					大正十一年	三,〇〇〇	三六〇	一九六	一五〇	一四三	九五	一五〇	八三	六三	六〇
					平 均	三,〇〇〇	三六三	一九六	一五〇	一四三	五五	一五九	八五	六七	五二

二、水利及治水 上流ニ耕地多キヲ以テ之ニ要スル灌溉用水多量ニシテ夏季流量ノ涸渇ヲ來スコト多シ。流木ハ上流ヨリ隨時ニ行ハルレトモ冬季ヲ主トス普通左鏡迄ハ

管流ニテ搬出シ同所ヨリ筏ニ仕組ミテ本川河口迄流下ス而シテ筏一組ノ大サハ長サ十五間幅十尺内外ニシテ其ノ流下年額略左ノ如シ

- 枕木 二〇〇〇挺(幅六寸長サ七尺内外)
  - 松角 二五〇〇才(幅五寸乃至二尺)
  - 杉丸太 一二〇〇〇才(長サ四間迄)
  - 雜木 二三〇〇〇才(丸太徑五寸乃至一尺長サ四間迄)
  - 竹 一〇〇〇束
- 左鏡ヨリ下流ニハ舟揖ノ便アリ舟ハ長サ五間幅四尺内外ニシテ主トシテ木炭ヲ積載シ本川河口ニ流送セラルル

モノ年約一四四、〇〇〇貫ニ達ス、漁業ハ鮎ヲ主トシ其ノ産額一四、〇〇〇圓内外アリ其ノ他惡水治水事業等ノ關係ナシ

三、水力地點 選定水力地點數二其ノ平水時ニ於ケル馬力數六、四六七ニシテ之ニ許可水力地點ヲ加算スルトキハ本川ニ於ケル總水力地點數三其ノ馬力數六、八三三ヲ算ス

#### 高津川 水力地點表 落差ニ\*ヲ附セルハ概定數ナリ

順位	河川	番地點	取入口	放水口	水量	落差	馬力數	延長	面積	發電率	年平均馬力數	等級
一〇四三	高津川	番外	島根縣鹿足郡柿木村 下須	同 郡 日原村 左鏡 井谷	湯水 一三五 低水 一九二 平水 三三二	六五	九七四 一、三八五 二、三二六	一、八〇〇	三、〇一九	一〇〇	九七五	乙
一〇四四	同	六	島根縣鹿足郡日原村 河村「カケ」	同 添谷郡 青原村 宮ヶ原	湯水 二二九 低水 三二七 平水 五五〇	六八	一、七二八 二、四六八 四、一五一	三、〇〇〇	三、四八三	八三三	一、七六六	丙

#### 水力地點ノ説明

順位一、〇四三 右岸ニ取入レ隧道約三五〇間開渠約一、〇四五〇間開渠延長約二、〇五〇間トス、用水ハ現ニ約一五個ヲ引用シテ二六町歩ノ水田ヲ灌溉スルモノアルモ利用ノ際ハシテ特ニ考慮スル程ノモノニ非ス

順位一、〇四四 右岸ニ取入口ヲ設ケ隧道延長約一、〇五〇間開渠延長約二、〇五〇間トス、用水ハ現ニ約一五個ヲ引用シテ二六町歩ノ水田ヲ灌溉スルモノアルモ利用ノ際ハシテ特ニ考慮スル程ノモノニ非ス

之ヲ四個以内ニ限定シ得ル見込ナリ

以上二地點トモ沿岸ニ道路開通スルヲ以テ諸種ノ運搬容易ニ且地形概ネ平易ナルヲ以テ工事ニ甚シキ困難ナキモノト認ム

### 第三節 匹見川

一、河川狀況 水源ヲ道川村ニ發シテ西南ニ向ヒ匹見上村大字匹見ニ於テ南方ヨリ來ル廣見三葛ノ二川ヲ容レ西北ニ轉シ澄川ヨリ更ニ西ニ向ヒテ屈折甚タ多ク遂ニ横田ニ至リ二分シテ村ノ南北ヲ圍繞シ高津川ニ合ス此ノ流路約一五里流域面積二三四方里ナリ

上流道川村地内ハ兩岸稍開ケタル地區ヲ流下スレトモ匹見上村ヨリ下流ニ於テハ匹見部落附近ノ稍平坦ナル地

區ヲ除ケハ概ネ兩岸相迫リ岸高ク且急峻ニシテ斷崖諸所ニ屹立シ極メテ屈曲多ク流下勾配概シテ急ナリ、河岸河床ニハ岩盤ヲ露ス所多ク匹見上村ヨリ高城村ニ至ル流程約八五里ノ間ハ之ヲ水力地點トシテ利用スルコトヲ得兩岸ノ地盤ハ概シテ軟弱ニシテ加フルニ河岸急峻ナルタメ降雨ニ遭遇スレハ地表ノ崩壞ヲ來シ易ク從ツテ土砂ノ流下少カラス

水力利用範圍内ニ於ケル河川勾配左ノ如シ

自道川、匹見村界 至廣見川合流

自廣見川合流 至能登川合流 (三、八四〇間) 六〇分ノ一

自能登川合流 至柿原渡舟場

(七、二五〇間) 一六五分ノ一

匹見川流量表

大正八年流量ハ大正九年一月一日ヨリ三月九日迄ノ資料ヲ充當シテ査定セルモノナリ  
灌溉用水一箇所アリ其ノ期間ハ四月一日ヨリ九月二十日迄ニシテ引用水量三三箇ナリ

順位	舊順位	河川	測水所	流域面積	流量				流域一方里當流量						
					年次	最大	平水	低水	洪水	最小	最大	平水	低水	洪水	最小
二七〇	九四	匹見川	島根縣美濃郡匹見下村	一六三三	大正八年 三月ヨリ	四、一〇〇	三、三七	二、〇一	一、三三	二、一九	二、五	一、一七	一、二二	八、二	七、三
					大正九年	五、三〇	二、九	一、七	一、三	一、三	三、三	一、八〇	一、〇三	一、〇三	七、三
					大正十年	六、五〇	三、九	二、〇五	一、三	一、三	三、四	一、九	一、二	一、二	七、九
					大正十一年	四、六〇	三、八	一、九	一、二	一、二	三、二	一、九	一、二	一、二	七、六
					平均										五、〇

自能登川合流 至須川渡舟場

(四、五七〇間) 一五四分ノ一

自須川渡舟場 至柿原渡舟場

(五、四六〇間) 一六七分ノ一

本川流量變化ノ概況ハ次ノ如ク略高津川ト同様ナリ

二、水利及治水 水力ヲ利用シ得ヘキ範圍ハ山間部ナルヲ以テ灌溉等ノ用水少ク殆ト之カ影響ナキカ如シ惡水ハ

更ニナク流木ハ管流シ出材概數用材七五、〇〇〇才、枕木五、〇〇〇挺以上ニ達シ期間ハ冬季ヲ最多トシ其ノ前後ハ少シ。漁業ハ鮎ヲ主トシ産額二〇、〇〇〇圓内外アリ。舟楫行ハルルモ水力ヲ利用シ得ヘキ區域以下ニ屬シ其ノ他治水事業ノ關係ナシ

三、水力地點 選定水力地點數五、其ノ馬力數ハ左表ノ通ニシテ許可水力地點ナシ

匹見川水力地點表

順位	河川	番地點	取入口	放水口	水量	落差	馬力數	巨水長路	流域面積	能發電	年平均馬力數	等級
一〇四五	匹見川	一	島根縣美濃郡匹見上村 匹見「マクイ」谷	郡匹見上村 匹見森原	洪水 四二 低水 六二 平水 一〇二	二六〇	一、七八九 二、九四四	三、〇〇〇	五、三三	九、五三 一、〇七五	一、三三 一、〇七五	甲
一〇四六	同	二	島根縣美濃郡匹見下村 廣瀬千原	郡匹見下村 廣瀬竹原	洪水 一一七 低水 一七四 平水 二八七	一一五	一、四九四 二、三〇一	一、五〇	一、五七	一、〇〇〇 六、三三	一、七五 一、一七	甲
一〇四七	同	三	島根縣美濃郡匹見下村 廣瀬切梨	郡匹見下村 深三出原	洪水 一二四 低水 一八五 平水 三〇六	一一〇	一、六五二 二、四六四	二、三三〇	一、五六	一、〇〇〇 六、三三	一、七五 一、一七	甲
一〇四八	同	四	島根縣美濃郡匹見下村 澄川谷口	郡匹見下村 澄川戸崎	洪水 一三八 低水 二〇六 平水 三三三	八〇	一、八二九 三、〇四六	一、七〇	一、七三	一、〇〇〇 六、三三	一、七五 一、一七	乙

順位	河川	番地 號點	取入口	放水口	水量	落差	馬力數	水長 路	流域 面積	能發 率電	年平均 馬力數	等級
一、〇四九	匹見川	五	島根縣 鹿足郡 須川村 瀧谷 陸子	美濃郡 高城村 薄原 推原	湯水 一六六 低水 二四六 平水 四〇八	二二六	二、〇九二 三、一〇〇 五、一四一	二、六〇〇	三、二三四	一、〇〇〇 九、三三三 六、三九九	二、〇九二 二、九五四 四、三二三	乙

水方地點ノ説明

順位一、〇四五 右岸ニ取入レ河川屈曲ヲ利用ス、用水ハ現ニ七五個ヲ引用シ一二五町歩ノ水田ヲ灌漑スルモノアルモ其ノ位置放水口ニ近キヲ以テ中間ニ合流スル溪流ニテ充分ナルヘシ

順位一、〇四六 左岸ニ取入口ヲ設ケ主トシテ隧道ニ依ル灌漑用水ハ八町歩ニ對スルモノアルモ之ニ要スル水量僅少ニシテ特ニ考慮スル程ノモノニ非ス

順位一、〇四七 右岸ニ取入レ主トシテ河川屈曲ヲ利用シ隧道延長約三〇〇間、開渠延長約一、九一〇間トス、用水ハ二箇所ニ水量約二〇個ヲ引用シ一二町歩ノ水田ヲ灌漑スルモノアルモ之ニ要スル必要水量ハ二個内外ナルヲ以テ只利用ニ際シ水路ノ餘水ヲ分與セハ充分ナルヘシ

順位一、〇四八 左岸ニ取入レ河川屈曲ヲ利用ス隧道約六〇〇間、開渠約一、一三〇間ナリ、用水ノ關係ナク貯水池若

ハ調整池ハ取入口附近ニ於テ設置シ得ヘキ餘地アルモ兩岸ノ地盤ハ軟弱ニシテ諸處ニ崩壊ノ箇所アルヲ以テ相當防禦工事ヲ必要トス

順位一、〇四九 左岸ニ取入レ主トシテ河川屈曲ヲ利用シ半ハ隧道ニヨリ半ハ開渠ニヨリテ導水ス、用水ハ現ニ一〇五個ヲ引水シ反別七八町歩ノ水田ヲ灌漑スルモノアルモ利用水量ニハ何等影響ナキモノト認ム

順位一、〇四六及一、〇四七ニハ河川ニ沿ヒ道路開通セルヲ以テ諸種ノ運搬容易ナレトモ他ハ道路路ナキノミナラス地形急峻ナルヲ以テ工事ノ施行亦困難ナルヘシ本川ニハ流水行ハルト雖河床岩石ノ突出セル箇所多クシテ之カ流下ハ困難ナル状態ニアルヲ以テ順位一、〇四八及一、〇四九ノ利用ニ際シ運搬用道路ノ開鑿ヲ見ルニ至レハ順位一、〇四六及一、〇四七ト併セテ之ヲ陸送セシムルコトヲ得ヘシ